

読書感想交流

個性を伝え合う読書感想文交流

新宿区立西新宿中学校 編



実践事例	
1	実践した教科・領域等 : 国語科
2	対象学年 : 1年
3	活用した書籍情報 : 「さつき」伊集院静（光村図書『国語1』）
4	<p>読書活動の実践の概要 : 全 6 時間</p> <p>① 読書感想文の受賞作を読み、良い読書感想文の特徴（自分自身のことについてくわしく述べている点）に気付く。</p> <p>② 「さつき」を通読し、新出語句の意味を確かめる。</p> <p>③ 「さつき」の中から印象に残った場面を選び、それぞれの場面について、以下の設問に沿って、自分自身について書く材料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印象に残ったのは、どの人物が、何をした場面か。 ・ その人物は、そのときどんな考え（気持ち）だったと思うか。 ・ 自分自身は、その人物と似ているか。あるいは、似ていないか。 ・ そのような自分の性格がよく表れている体験などの具体例。 ・ 今後の生活に向けて、その場面で学んだことや、考えを深めたこと。 <p>④ 集めた材料のどの内容を、どういう順番で感想文に書くのかを、表にまとめながら決める。</p> <p>⑤ 漢字や表記、原稿用紙の使い方などに気を付けながら、感想文を書く。</p> <p>⑥ 書いた読書感想文をお互いに読み合いながら、相互評価を行う。</p>
5	<p>活動のポイント</p> <p>① 第3時の段階で、お互いに考えたことを示し合い、思い付けない生徒の発想を促す。</p> <p>② 第4時の段階で、書き出しと結びの内容については、さまざまな感想文の例を参考にしながら、実際に書く言葉で考えさせる。</p> <p>③ 第6時の段階で、感想文と評価シートをセットして、回し読みをしながらコメントを書き込んでいき、最後にはクラスメイトからの評価が各自の元に戻るようにする。</p>
6	<p>留意点</p> <p>① あらすじよりも自分自身のことを、体験などを交えながら詳しく書かせる。</p> <p>② 作品中から場面を選ばせる際には、作品の盛り上がりや作者の思いが強く感じられるもの、なるべく選ばせるようにする。</p>
7	<p>連携した諸機関</p> <p>特になし。</p>